

科目名 Course Name	介護職員初任者研修講座Ⅲ Care staff beginner's training lecture III			ナンバリング No.	I3-011		
年次	2年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	久保 由佳						
連絡方法	C-Learning で対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護職員初任者研修ユニット必修)						
関連 DP	DP1, DP2						
授業の概要と到達目標	<p>生活支援技術の基本となることとからだのしくみに関する知識を習得する。そのうえで、日常生活の基本となる移乗・移動に関する基礎知識や技術について学ぶ。さらに福祉用具の活用により自立に向けた個別性のある技術について習得する。</p> <p>①介護に関することとからだのしくみおよび ICF の視点に基づいた基本的な考え方を説明できるようにする。</p> <p>②移動に関することとからだのしくみを理解し、自立に向けた適切な生活支援技術を習得できるようにする。</p> <p>③移動に関連した福祉用具の適切な使用方法を習得し活用できるようにする。(褥瘡予防を含む)</p> <p>④緊急時における基本的な対応方法を習得できるようにする。</p>						
授業の方法	講義で知識を学び、演習を通して技術の習得を行う。演習では、教員のデモンストレーションの後、グループで練習する。利用者役、介護者役を体験しながら実技を学んでいくが、単に手順を覚えることに集中するのではなく、一つ一つの介護の根拠を考えながら実践していく。また、利用者の立場から介護を受けとめ、より良い方法を考えていく機会にする。						
学習成果	L01	基本的な人体の構造と機能を簡略に図式化し、説明することができる。					
	L02	移動に関する生活障害に対して、福祉用具を活用しながら適切な技術を習得することができる。 緊急時に対して適切に対応することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	実技演習後は振り返りの時間を設け、補足説明を加えながらフィードバックする。また、レポートは評価後、可能な限り学生に返却する。						
教科書/参考図書	①介護職員初任者研修テキスト 第2巻「自立に向けた介護の実際」中央法規出版 ②生活支援技術マニュアル						
履修上の留意点やルール等	●資格取得に向け目的意識を持ち、積極的・意欲的に取り組むこと。●演習時は身だしなみを整えること。●自己練習をし、技術の向上に努めること。●教材以外のものは机の上に置かない。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S 評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことはノートにとっている。③課題の提出期限を守っている。④演習時は身だしなみを整え、積極的に取り組んでいる。	20			
レポート/作品	①安楽な体位について S 評価: 学習内容や体験をもとに、具体的にまとめている。安楽な体位への援助を考えられている。 ②演習の振り返り S 評価: 演習内容を踏まえ、利用者役・介護者役両面からの学びを記述している。		20		
発表					
小テスト					

試験	人体の構造と機能、安楽な体位、褥瘡予防、ボディメカニクスの基本原則、移乗・移動における介護技術(方法と留意点、適切な福祉用具)、緊急時の基本的対応について理解できている。		60		
その他					
合計			20	80	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法・介護実習室の使い方・演習時の注意など) 基本知識の学習① 基本的なところとからだのしくみ【講義】
	事前・事後学習	テキストP2～9を読む。授業での学習内容をノートにまとめる。
2	授業内容	基本知識の学習② 基本的なところとからだのしくみ、ICFに基づく介護の基本的な考え方【講義】
	事前・事後学習	テキストP28～45を読む。授業での学習内容をノートにまとめる。
3	授業内容	基本知識の学習③ 介護に関するからだのしくみ、移動に関わる障害と生活障害【講義】
	事前・事後学習	テキストP134・135を読む。廃用症候群(生活不活発病)についてノートにまとめる。
4	授業内容	基本知識の学習④ 基本的な体位と安楽な体位【演習】(レポート① 提出:第5回)
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルP145～147を読み、空欄部分を記入する。レポート①を作成。
5	授業内容	基本知識の学習⑤ 安楽な体位への援助(褥瘡予防を含む)
	事前・事後学習	テキストP153～155を読む。褥瘡の原因・好発部位・症状・予防方法をノートにまとめる。
6	授業内容	移動に関わる生活支援技術① ボディメカニクス【演習】
	事前・事後学習	テキストP138～141を読む。ボディメカニクスの要点をノートにまとめる。普段からボディメカニクスの動作を意識して行動する。
7	授業内容	移動に関わる生活支援技術② 移動に関する福祉用具 種類と使い方(移動用リフトを含む)【演習】
	事前・事後学習	テキストP142～146を読む。配布資料を読み、移動に関する福祉用具の種類、対象者、使用方法、留意点をノートにまとめる。
8	授業内容	移動に関わる生活支援技術③ 車いす【演習】
	事前・事後学習	テキストP144・145、P169～173を読む。車いすの介助方法と留意点をノートにまとめる。
9	授業内容	移動に関わる生活支援技術④ 片麻痺体験【演習】
	事前・事後学習	テキストP136を読み、麻痺の種類(障害部位)を覚える。片麻痺疑似体験を振り返り、どのような支援方法がよいか考え、ノートにまとめる。
10	授業内容	移動に関わる生活支援技術⑤ 片麻痺のある人への体位変換(上方移動、水平移動、側臥位、端座位)【演習】
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルP20～24を読み、手順や根拠、留意点をノートにまとめる。
11	授業内容	移動に関わる生活支援技術⑥ 片麻痺のある人への移乗(一部介助・全介助)、ストレッチャーへの移乗【演習】(レポート② 提出:第12回)
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルP28・29、P84～88を読み、手順や根拠、留意点をノートにまとめる。レポート②を作成。
12	授業内容	移動に関わる生活支援技術⑦ 視覚に障害のある人の歩行介助:基本姿勢、狭い所やドアの通過、椅子への誘導、階段の昇降、クロックポジション【演習】
	事前・事後学習	テキストP160～163を読み、手順や根拠、留意点をノートにまとめる。日常生活の中でクロックポジションによる説明を練習し、練習した日時、場面、改善策をノートに記録する。
13	授業内容	基本知識の学習⑥ バイタルサイン(バイタルサインの意義と測定方法)【一部演習】
	事前・事後学習	テキストP22～27、生活支援技術マニュアルP159を読む。バイタルサインの観察における留意点、測定方法と測定時の注意事項をノートにまとめる。自分自身の体温、脈拍、呼吸、血圧を測定し、ノートに記録、平常値を知っておく。

14	授業内容	基本知識の学習⑦ 緊急時の対応 その 1(利用者の理解、予測される事故、緊急度の判断、適切な体位、運搬法) 【講義】
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P107 を読む。配布資料を読み、緊急時の対応方法をノートにまとめる。
15	授業内容	基本知識の学習⑧ 緊急時の対応 その 2(創傷、熱傷、骨折、気道異物の除去、止血法、包帯法) 【一部演習】
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P108～112 と配布資料を読み、創傷、熱傷、骨折の対応方法、気道異物除去の手順、止血法、基本となる包帯の巻き方をノートにまとめる。